| 学校番号 | 201 |
|---|---|

# 平成 31 年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版　古典Ｂ　　古文編・漢文編（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 読解をたいせつにする　体系古典文法　八訂版　（尚文出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作品の背後にある作者の考え方や時代背景などを学習します。また、古典を読解していくために、必要な知識についても学習を進めていきますので、古典文法書、古語辞典、漢和辞典など必要なものを準備して授業に臨みましょう。

2　学習の到達目標

１．古典としての古文・漢文を読む能力を養う。
２．様々な古典を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
３．古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | | | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。 | | | 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | ・授業時の反応<br>・発問<br>・プリント | | | ・定期考査<br>・発問<br>・プリント | ・定期考査<br>・小テスト<br>・プリント<br>・指名読み<br>・発問 |
| | 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 一学期 | 一部　随筆(一) | 『枕草子』 | ○ | | | ◎ | ○ | a:随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。<br>d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。<br>表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。<br>無常観について理解し、日本文化の特質について考える。<br>e:係り結びと完了・打消・推量の助動詞について理解する。 | a:<br>授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>d:<br>学習課題集の提出<br>e:定期考査 |
| | 一部　歌物語 | 『伊勢物語』 | ○ | | | ◎ | ○ | a:比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。<br>d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。<br>e:歌物語における和歌の役割を理解する。 | a:<br>授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>d:<br>学習課題集の提出<br>e:定期考査 |
| | 一部　文章 | 『漁父辞』 | ○ | | | ◎ | ○ | a:比較的短い文章を読んで漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。<br>d:故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。<br>本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。<br>否定・使役・疑問・仮定・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。<br>e:故事成語の由来を正確に理解し、現代における故事成語の使い方を習得する。 | a：<br>授業時の反応<br>発問<br>d：<br>定期考査<br>発問<br>e：<br>定期考査<br>小テスト<br>発問 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 一部 物語 | 『源氏物語』 | ○ | | | ◎ | ○ | a:物語を読んで、古文に親しむ。<br>d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。<br>e:「もののあはれ」の心を理解し、日本文化の特質を考える。 | ａ：<br>授業時の反応<br><br>d：<br>定期考査<br>発問<br>ｅ：<br>定期考査<br>小テスト<br>プリント<br>発問 |
| | 一部 史伝 | 『項羽と劉邦』 | ○ | | | ◎ | ○ | a:長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。<br>d:話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。<br>・漢楚の興亡についての概要を知る。<br>本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。<br>e:使役・禁止・反語・疑問・抑揚・感嘆・仮定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。<br>中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。<br>『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。<br>歴史の中の人間について考える。 | ａ：<br>授業時の反応<br>発問<br>d：<br>定期考査<br>発問<br>ｅ：<br>定期考査<br>小テスト<br>プリント<br>発問 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 一部 随筆(二) | 『方丈記』 | ○ | | | ◎ | ○ | a:随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。<br>d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。<br>文章の表現上の特色を理解する。<br>e:係り結びと音便について理解する。 | ａ：<br>授業時の反応<br>発問<br>d：<br>定期考査<br>発問<br>ｅ：<br>定期考査<br>小テスト<br>プリント<br>発問 |
| | 一部 思想 | 『論語』 | ○ | | | ◎ | ○ | a:中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する。<br>d:本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。<br>e:反語・限定・疑問・仮定・二重否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。<br>古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る | ａ：<br>授業時の反応<br>発問<br>ｄ：<br>ノートへの記入<br>ｅ：<br>定期考査<br>小テスト<br>プリント<br>発問 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く　c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。